

# 市数研だより

令和3年9月 日発行 NO. 3 熊本市中学校数学教育研究会

今年度3回目の定例会が9月9日（木）に白川中学校で行われました。新型コロナウイルスの影響で、今回も白川中学校から ZOOM 配信という形で実施しました。

## 1. あいさつ

市数研会長（錦ヶ丘中学校 出崎校長先生）



先日まで開催されていたパラリンピックの男子車いすバスケットボール競技から、とても勇気をもらうことができました。大会前の順位予想は高いものではありませんでしたが、決勝戦のアメリカ代表との試合でも白熱した、そして魂のこもった試合を見せてもらいました。人間の持っている可能性は、無限大であることを改めて実感することができました。

二学期の始業式に星野富弘さんの『鈴の鳴る道』という詩を生徒へ伝えました。星野さんは、元体育の先生で、部活動の指導中に事故に遭い、首から下を動かすことができなくなりました。そのような状況の中でも、星野さんは口で筆をくわえ、絵や文字、文章を書かれています。その一つ一つがとても温かみのある作品となっています。

『鈴の鳴る道』という詩は、以下のような内容です。ある人から鈴を頂いた星野さんは、いつでも鈴を眺めることができるように、車椅子にその鈴をつけました。ある日、でこぼこ道を車いすで通る時があり、その時に鈴がチリンと心地よい音を立てました。「良い音だな」と思って、でこぼこな道を進んでいくと、何度も鈴が鳴るのがとても心地よく感じられました。それまで星野さんは、でこぼこな道を通るのがとても苦痛で避けて通りたいと思っていましたが、鈴の音に勇気づけられて、『でこぼこ道も良いものだな』と感じるようになっていきました。

星野さんは、「人はこの鈴のようなものを心の中に持っていて、人生の中ででこぼこ道を通るたびにその鈴がきれいな音を立てて、その人を勇気づけ、さらにもう一步進んでみようと気持ちにさせる。」とおっしゃられています。

県大会や中学校授業研に向けて進んでいく中で、多くの『でこぼこ』があるかもしれません。しかし、そのでこぼこ道を避けて、皆で進んでいくことによって、先生方一人ひとりの心の中にある鈴のきれいな音色を共鳴させましょう。大会が成功に終わることとそれを通して私たちが成長できるように頑張っていきたいと思います。本日もよろしくお祈りします。

## 2. 中学校授業研ブロック別検討

それぞれのブロックに分かれて、司会者の先生を中心に、ZOOM を使いながら指導案検討を行いました。

本番の授業に向けて、活発な意見交換が行われていました。

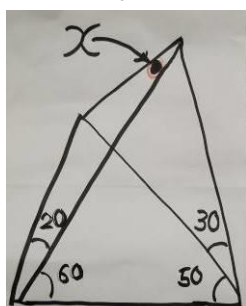


#### 4. まとめ

##### ◎市数研副会長 白川中学校 大橋校長先生

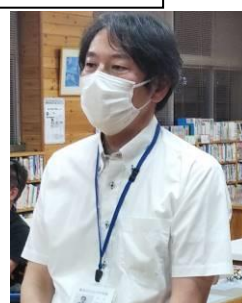
各ブロックの指導案検討大変お世話になりました。私たちは、『数学を教える』ということを深めていくために、多くの人と話をすることや色々な情報を得ることを大切にしないといけません。

数学の良いところは、紙一枚あれば問題を出題し、思考させることができるところです。今から四角形の対角線問題を解いてもらいたいと思います。この問題は簡単に見えますが、実はなかなか解けません。このような問題を子どもたちの表情を直に見ながら授業を行い、色々な考え



を出させ、試行錯誤させます。そして、解けた時の子どもの喜びの声を聞くことが、数学を教えるときの面白さではないかと思います。

今後も先生方のお力をお借りしながら、研究をさらに深めていくこととなります。自分たちができることを一生懸命行って、より良い授業になるように、これからもよろしくお願いします。本日は、お疲れ様でした。



#### 6. お知らせ

次回の定例会は、**10月14日(木) 19時～ 出水南中学校**

実施方法については、改めてご連絡いたします。

**県大会の指導案検討**を行いますので、多くの先生方の参加をお持ちしています。

ご質問やご感想がありましたら、下記のアドレスまでお願いします。

[tsuda.nobuyoshi@kumamoto-kmm.ed.jp](mailto:tsuda.nobuyoshi@kumamoto-kmm.ed.jp)

- ・定例会へ多数の先生方のご参加をお願いします！！
- ・各学校から**1名以上の参加**をぜひともお願いします！！
- ・特に若手の先生方、遠慮せずに参加して、市数研の底上げを困っていきましょう。主任の先生方、呼びかけをよろしくお願いします。

文責 三和中学校 津田 展良